

トキソプラズマ *Toxoplasma gondii*

細胞内寄生原虫。

◆ 哺乳類・鳥類・・・中間宿主・・・無性生殖

◆ ネコ・・・終宿主・・・有性生殖・・・無性生殖

感染経路

ネコの糞便中のオーシスト、加熱不十分な食肉中のシストの経口摂取。
腸管壁から宿主体内へ侵入し、血流に乗って全身の組織に広がる。

日和見感染。



トキソプラズマ症

① 先天性トキソプラズマ症

妊婦が感染すると、原虫は胎盤に移行し胎児に伝染する。通常は妊娠中にトキソプラズマに初感染した場合にのみ起き、妊娠前6ヶ月以前の感染は影響はない。ただし仮に妊娠後半に初感染しても、実際に胎児が先天性トキソプラズマ症を発症する割合はかなり低い

② 後天性トキソプラズマ症

易感染性宿主では重篤な全身感染をおこし、特にエイズ患者ではトキソプラズマ脳炎を発症する。



トキソプラズマ症

検査:

抗体検査。

先天性感染の診断では臍帯血中の特異的IgM抗体の検出

治療:

主にスピラマイシンを用いる。

通常用いられるサルファ剤は妊婦には禁忌である

予防:

ネコとの接触を避ける。

妊婦はなるべく生肉を食べない